



2011年11月1日

富士重工業 2012年3月期 第2四半期連結業績の概要

<2012年3月期 第2四半期累計期間業績：連結売上高>

東日本大震災による大幅な生産台数減の影響により、スバルの国内販売は前年同期比18.0%減の73千台、海外販売は同20.3%減の193千台、全世界合計の販売台数は同19.7%減の266千台となりました。この結果、連結売上高は売上台数の減少に加え為替の円高による影響もあり、同18.5%減の6,550億円となりました。

<2012年3月期 第2四半期累計期間業績：連結損益>

第2四半期累計期間業績については、販管費をはじめとした諸経費削減に努めたものの、震災影響によるスバルの販売台数減と為替の円高の影響等により、営業利益は前年同期比67.3%減となる188億円となりました。経常利益は同63.3%減の216億円、純利益は本社ビル売却による特別利益261億円を計上したものの、同26.5%減の328億円となりました。

<2012年3月期 通期連結業績見直し>

通期連結業績見直しについては、販売台数を前回予想比13千台増の645千台とするとともに、引き続き諸経費削減に努めるものの、為替の円高がさらに進行していることから、売上高1兆4,800億円、営業利益300億円の前回予想値を据え置きます。経常利益については為替予約の影響などにより290億円に、当期純利益については360億円にそれぞれ見直します。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥78/\$、¥108/EUROです。

※通期連結業績見直し（2011年8月2日公表）

売上高1兆4,800億円、営業利益300億円、経常利益250億円、当期純利益350億円、
想定為替レート¥81/\$、¥115/EURO